

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 (この説明書は、必ず保管しておいてください。)

スタンダードタイプ FS	ドアなしタイプ FSN	連結タイプ FSR
LANタイプ FSL	オープンタイプ FSP	耐震タイプ FST
サーバ収納タイプ FSS	サーバ収納耐震タイプ FSST	セキュリティタイプ FSK

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

- ・お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- 気をつけていただく内容です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■吊上げ時のご注意

警告	
<p>本品を吊上げる場合にはアイボルト(RD71-16)を使用し、必ず4ヶ所で吊上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2ヶ所での吊上げや45°未満の吊上げ角度、搭載可能質量オーバーは落下の恐れがあります。</p> <p> FSシリーズ 吊上げ時の搭載可能質量:500kg</p>	<p>本品を連結した状態で吊上げないでください。変形・落下の恐れがあります。</p>



■キャスター取付時のご注意

注意	
<p>ラック全体の質量を考慮してキャスターを選定してください。許容荷重を超えたり、追加加工などによって指定以外のキャスターを使用しますと、変形・破損・転倒する恐れがあります。</p>	<p>キャスター取付けの際には、変形・破損防止のためラックのドア、側板、背面板を取外し、周囲の安全を確認の上、ラック本体を横倒ししてください。また、取付作業は3人以上で行ってください。少ない人数で作業すると、けがの原因になる恐れがあります。</p>





■設置時のご注意

 警告		
 アースせよ	感電防止のため、接地(アース)してください。	
	耐震対策のためにM12 以外のアンカーボルトで固定しないでください。転倒・変形の恐れがあります。	
重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレール等により引出した場合、転倒の恐れがあります。また、引出しを2段以上同時に引出さないでください。		

■換気扇使用時のご注意

 警告		
 回転物注意	回転部に指や異物を入れないでください。けがの恐れがあります。必ずフィンガーガードを取付け、外さないでください。けがの原因になります。	
保守・点検作業は必ず電源を切り、換気扇が停止してから行ってください。けがの原因になります。		

■コンセントバー・ファクトライン使用時のご注意

 警告		
 分解禁止	分解、改造をしないでください。感電や火災の原因になります。	 発火注意
 発火注意	定格容量を超えないでご使用ください。超えた場合、焼損や火災の原因になります。	
プラグ付コードを引張らないでください。接触不良により火災の原因になります。		 発火注意
ファクトラインは、プラグを逆向きに接続しないでください。接触不良により火災の原因になります。		

■輸送上のご注意

 注意		
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラック及び機器の破損の恐れがあります。	
本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締めすぎないようにしてください。特に締めすぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締めすぎにより、ドアの変形の恐れがあります。		

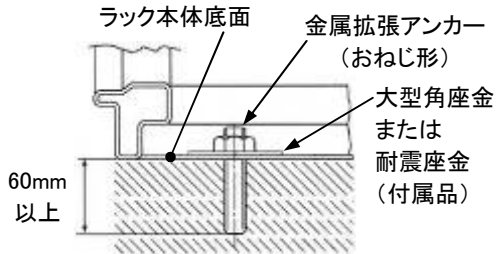
■施工上のご注意(アンカー固定など)

⚠注意

ラック本体底面のアンカーボルト取付用穴4-長穴17×20を使用し、M12アンカーボルトにて床面に4ヶ所固定してください。

	最小埋め込み深さ
ボルト径 M12	60mm

あと施工アンカー施工例

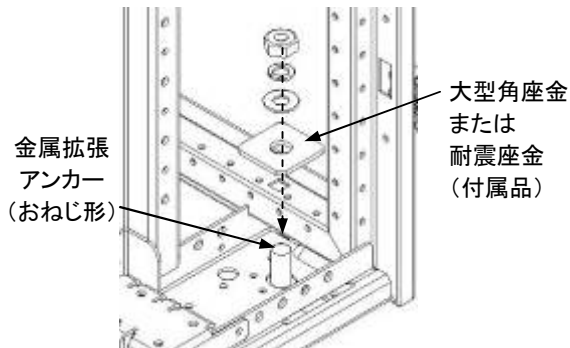


必ず付属の耐震座金を使用してください。使用しない場合、激しい地震などで転倒・変形の恐れがあります。

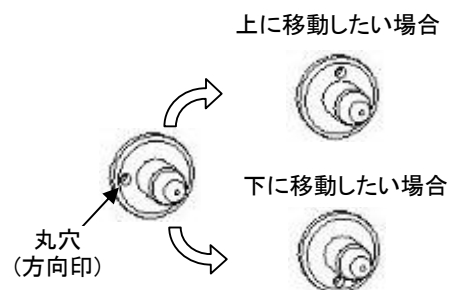
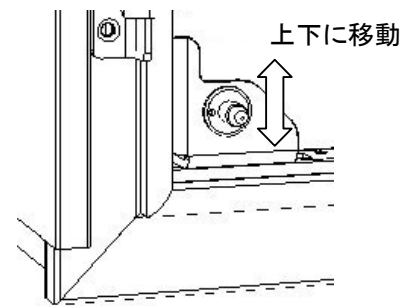
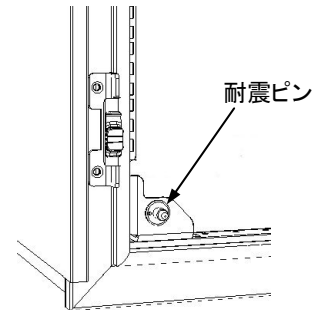
ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。設置に不備があると、ドアの開閉及び機器搭載に支障をきたす恐れがあります。

ラック本体を基台等へ固定する場合も付属の大型角座金または耐震座金を使用して固定してください。

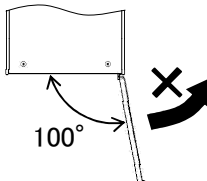
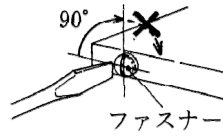
大型角座金、耐震座金使用図



サーバ収納耐震タイプ (FSST) は、ラックの設置状態により、ドア開閉時に耐震ピンがドアに干渉し、開閉に支障をきたす場合があります。この時は耐震ピンを取外し、取付け位置を上下に移動させるか、90°回転させることでピンの位置を調整することが出来ます。尚、耐震ピンが干渉する場合でもドアの開閉が可能であれば問題ありません。

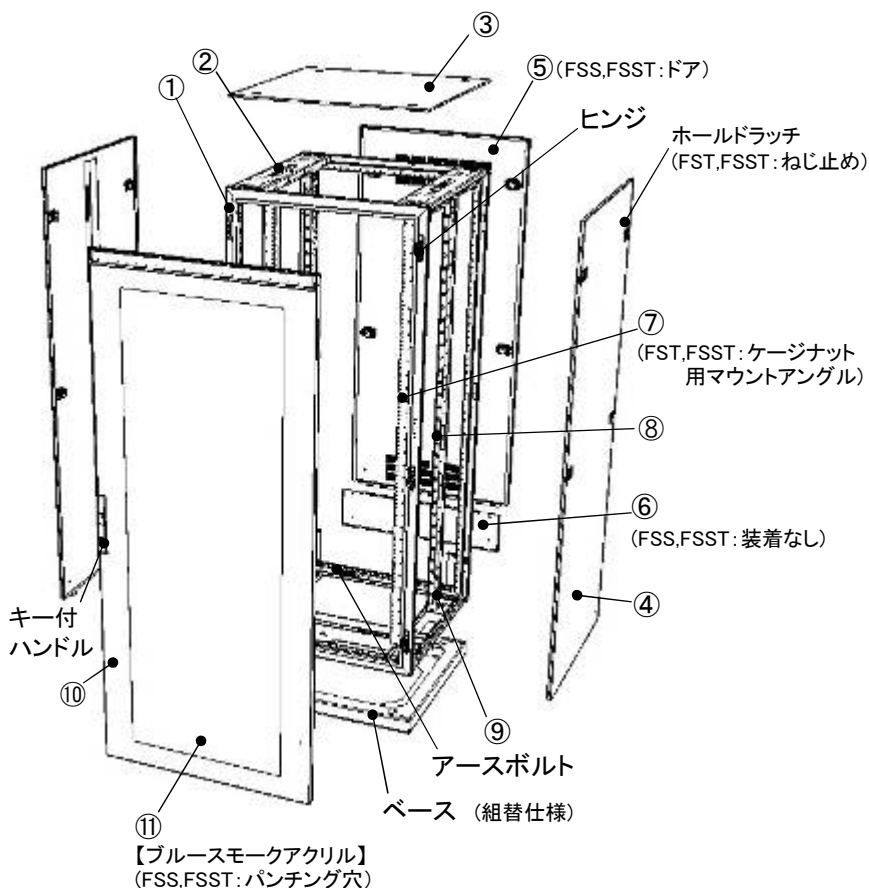


■ 使用上のご注意

⚠ 注意											
<p>天井面へは局所的な荷重をかけないでください。変形の恐れがあります。</p>	<p>⚠</p> <p>ドア着脱の際、ヒンジのレバー操作で指を挟まないようにしてください。</p>										
<p>ラック本体には、落下等の強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミや歪みが発生し、強度の劣化となる恐れがあります。</p>	<p>取付けに際して、ねじをしっかりと締付けてください。ねじの締付が不十分ですと、落下・破損の原因になります。また、締付けすぎの場合は、ねじタップを破損する恐れがあります。</p> <p>※但し、Sタイトねじにおいて締付時の初期トルク値はこの限りではありません。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">ねじ呼び</th> <th style="text-align: center;">適正締付トルク値※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">0.49～0.78N・m(5～8kgf・cm)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2.94～3.92N・m(30～40kgf・cm)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">3.92～4.90N・m(40～50kgf・cm)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7.84～10.78N・m(80～110kgf・cm)</td> </tr> </tbody> </table>	ねじ呼び	適正締付トルク値※	3	0.49～0.78N・m(5～8kgf・cm)	5	2.94～3.92N・m(30～40kgf・cm)	6	3.92～4.90N・m(40～50kgf・cm)	8	7.84～10.78N・m(80～110kgf・cm)
ねじ呼び		適正締付トルク値※									
3		0.49～0.78N・m(5～8kgf・cm)									
5		2.94～3.92N・m(30～40kgf・cm)									
6	3.92～4.90N・m(40～50kgf・cm)										
8	7.84～10.78N・m(80～110kgf・cm)										
<p>ドアの開閉角度は約 100° です。扉を開けた状態で、右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。蝶番部及びドアが変形・破損する恐れがあります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>											
<p>ハンドル、側板などの鍵について、施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。無理に引抜くと、キーが破損する恐れがあります。</p>											
<p>台板取付け用ファスナーは 90° 以上回さないでください。90° 以上回すと破損の原因になります。</p> <div style="text-align: center;">  <p>ファスナー</p> </div>	<p>⚠</p> <p>ヒンジのレバー操作は矢印方向に従って回転させてください。逆方向に回転したり、必要以上に回転させますと、十字穴あるいはギア部が破損する恐れがあります。</p>										
<p>ヒンジのレバー操作は電動ドライバーで行わないでください。</p>	<p>ハンドルの着脱はドアを外して作業をしてください。取付けたまま作業をしますと、部品、ねじなどの落下によりけがをする恐れがあります。</p> <p>機器をマウントアングルのみで固定する場合は、機器の質量が 1U(1H)あたり 5kg 以下としてください。5kg を超える場合は L 型レールなどを併用し、固定してください。</p> <p>※機器の質量が 5kg 以下であっても形状(奥行寸法)や重心位置、施工時の取扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。</p>										
<p>⚠</p> <p>施解錠する頻度が多い場合、キーの抜差しが固くなる恐れがあるため、キーあるいはシリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。なお、潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は約 1 万回となります。キーあるいはシリンダーの摩耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。</p>	<p>⊘</p> <p>次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温、高温となる場所・腐食性ガスのある場所 ・可燃性ガスのある場所・塵埃やオイルミストが多い場所 ・振動、衝撃のある場所・ノイズ、電界、磁界の強い場所 ・水滴のかかる場所 										

■構成

スタンダードタイプ






○仕様

部品名	材質	板厚	数量
① フレーム枠	鉄	1.6 mm	—
② フレームフカサ	鉄	2.3 mm	—
③ 天井板	鉄	0.8 mm	1
④ 側板	鉄	0.8 mm	2
⑤ 背面板	鉄	0.8 mm	1
⑥ ブランクパネル	鉄	0.8 mm	1
⑦ マウントアングル	鉄	2.3 mm	2
⑧ マウントレール	鉄	2.3 mm	2
⑨ レール取付アダプタ	鉄	2.3 mm	8
⑩ ドア	鉄	0.8 mm	1
⑪ ドアパネル	アクリル	3.0 mm	1

(ご注意)

- ・フレームは全溶接構造ですので、分解や現地組立はできません。
- ・サーバを搭載する場合、各サーバによってレールの形状などが異なり、取付けが出来ない場合があります。

■付属品

名称	数量	適用機種					
		FS FSL	FSN FSP	FSR	FST	FSS	FSST
FSシリーズ 取扱説明書 (本紙)	1	○	○	○	○	○	○
キー 	⇒	1	—	1	1	4	4
大型角座金 	4	○	○	○	—	○	—
耐震座金 	4	※1	※1	※1	○	※1	○
ケージナット用 取付工具 	1	—	—	—	—	○	○
ガイド付角根丸頭ボルト	6	—	—	—	—	—	—
スーパーロックナット	6	—	—	○	—	—	—
天井板カバーセット 	1	—	—	—	—	—	—

○・・・付属品 —・・・付属なし

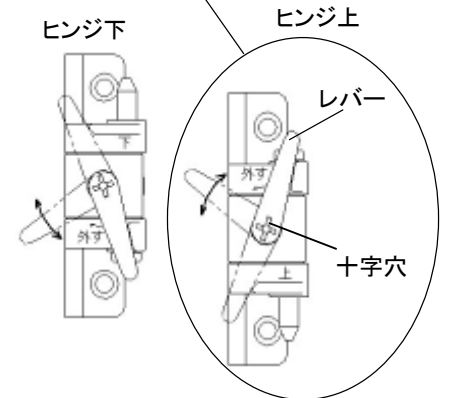
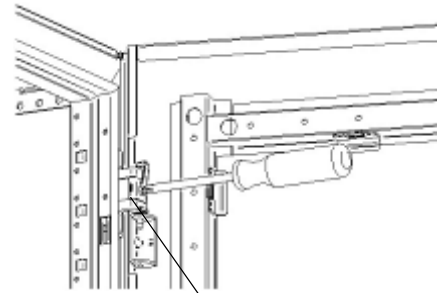
(ご注意)

- ・『※1』特注対応により耐震座金が付属される場合があります。この場合、耐震座金を使用してアンカー固定や基台への固定を行ってください。
- ・組替仕様、オプション実装(同送)、特注対応により付属品の数量、種類などを変更する場合があります。
- ・化粧ねじ(RD75)又はケージナット(RD751)は付属されていないので別途ご用意ください。

■外装パネルの着脱方法

(1)ドアの着脱方法

- ・ドアを開けた状態で、フレームに取付けられたヒンジをレバーで回転させ、ドアを取外します。
(※レバーが硬い場合は、十字穴をドライバーで回転させてください。)
- ・取外し時のヒンジ部操作は、①下部 ②上部 ③中央部の順で行ってください。また、装着の場合は逆の手順となります。



⚠ 注意	
	ヒンジのレバー操作で指を挟まないようにしてください。
	ヒンジのレバー操作は矢印方向に従って回転させてください。逆方向に回転したり、必要以上に回転させますと、十字穴あるいはギア部が破損する恐れがあります。
	ヒンジのレバーは電動ドライバーで操作しないでください。

(ご注意)

ドアを取付けた後に、ドアが外れないか、がたつきがないか確認してください。

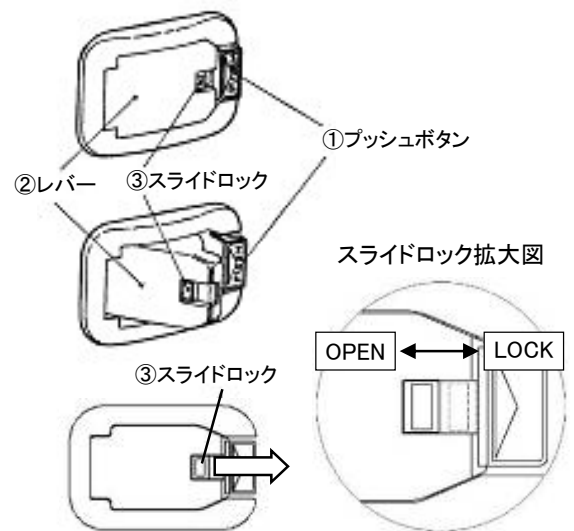
(2)ホールドラッチの操作方法(ねじ止め仕様は除く)

【対象機種:FS、FSN、FSR、FSL、FSS、FSK】

- ・側板や背面板の着脱は、ホールドラッチで行います。
プッシュボタン①を押すとレバー②が跳上がり、外装パネルが外れます。また側板などを取付ける際には、レバー②を倒すとフレームに固定されます。
- ・不意なレバーの跳上がり防止のためにロック機構がついています。
スライドロック③をスライドさせる事によりロックされます。
スライドロックに「OPEN」「LOCK」の表示があり、状態を確認することができます。

(ご注意)

外装パネルを取付けた後に、ラッチが確実に掛かっているか、がたつきがないか確認してください。



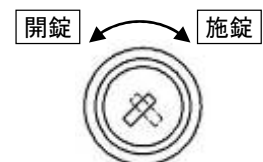
(3)カムロックの施錠・開錠方法

- ・FSS・FSST及び組替仕様・側板鍵付タイプ(-SK)、背面板鍵付タイプ(-RK)の施錠・解錠は、カムロックにて行います。カムロックにキーを奥まで差込み、右回りで施錠、左回りで開錠されます。

(ご注意)

施錠後に、確実にロックされているか確認してください。

カムロック正面図



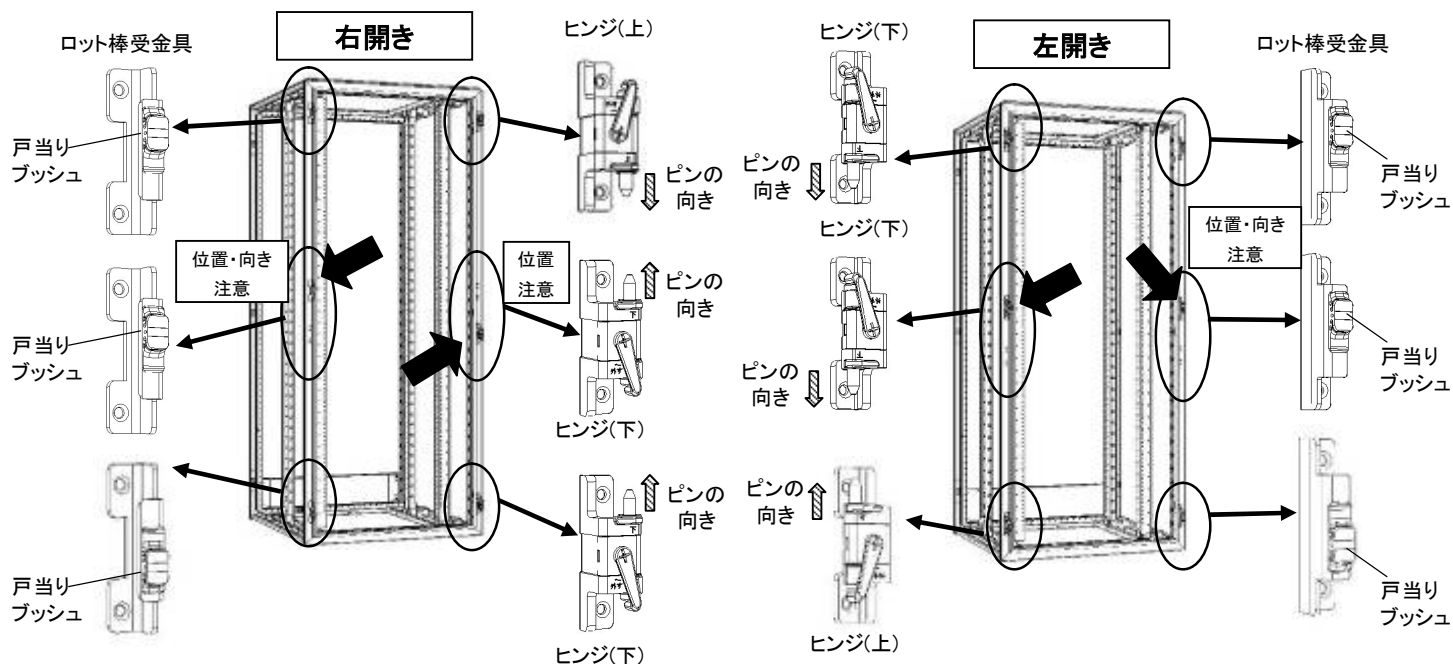
⚠ 注意	
	ハンドル、側板の鍵について、施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。 無理に引抜くと、キーあるいは、シリンダーが破損する恐れがあります。
	施解錠する頻度が多い場合、キーの抜差しが固くなる恐れがあるため、キーあるいはシリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。なお、潤滑剤を使用しない場合の施解錠寿命は約1万回となります。 キーあるいはシリンダーの摩耗により交換が必要な場合は、別途ご用命ください。

■ ドア左開きへの変更方法

(1) 本体組付け部品の変更

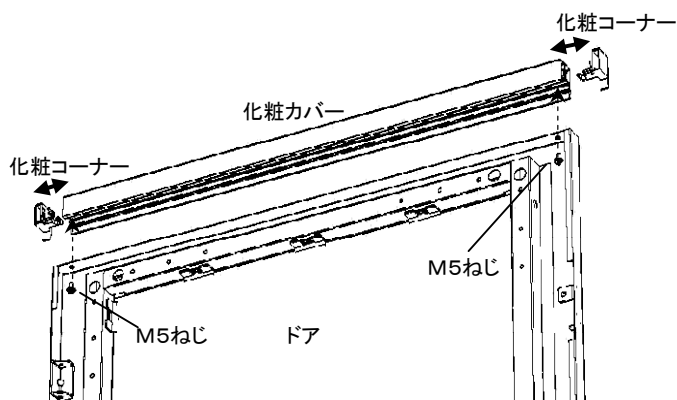
- ・「■ 外装パネルの着脱方法」- (1) ドアの着脱方法」を参照しドアを外します。
 - ・下図を参考に、ヒンジ、ロッド棒受金具を付直します。この時、ヒンジの向き(ピンの向き)、戸当りブッシュの位置を下図のようになるよう確認してください。尚、中央部の戸当りブッシュは取付け向きを上下付け替える必要があります。
- (ご注意)

ヒンジ及びロッド受金具取外しの際は、取付けねじの破損に注意してください。

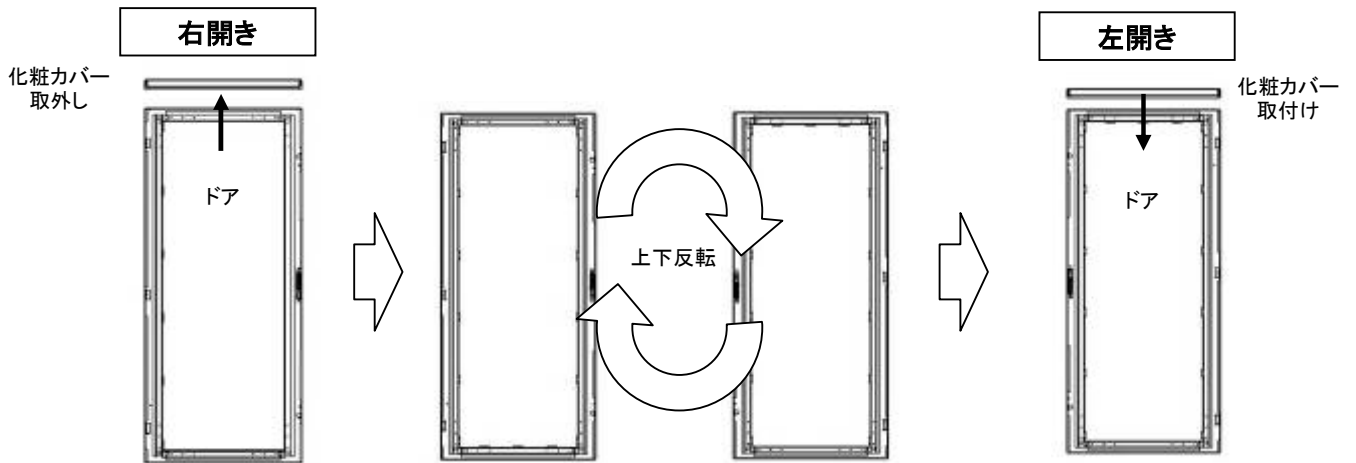


(2) ドア組付け部品の変更

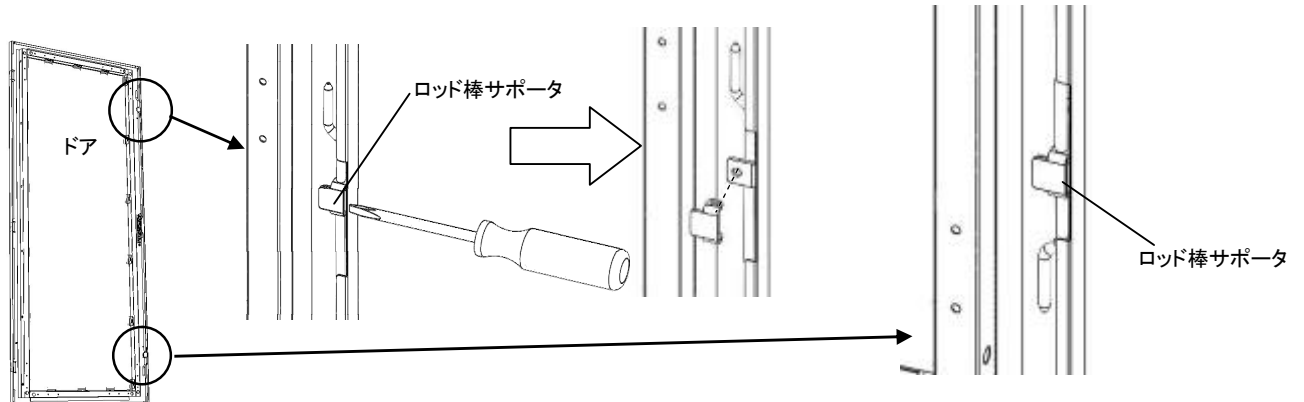
- ① ドア裏面上部のねじ(なべ小ねじM5 2個)を外し、化粧カバー、化粧コーナーを外します。



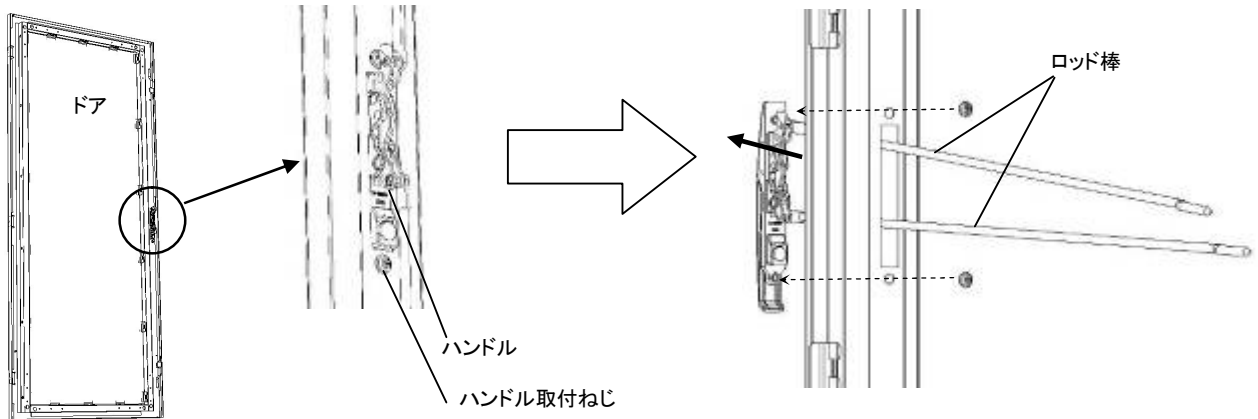
②ドアを上下反転し、化粧カバー、化粧コーナーを外した際と逆の手順で取付けます。



③マイナスドライバーなどを利用し、上下のロッド棒サポータを外します。



④ハンドル裏面の取付けねじ(M5)を外し、ハンドル・ロッド棒は組付けたままドアから外します。



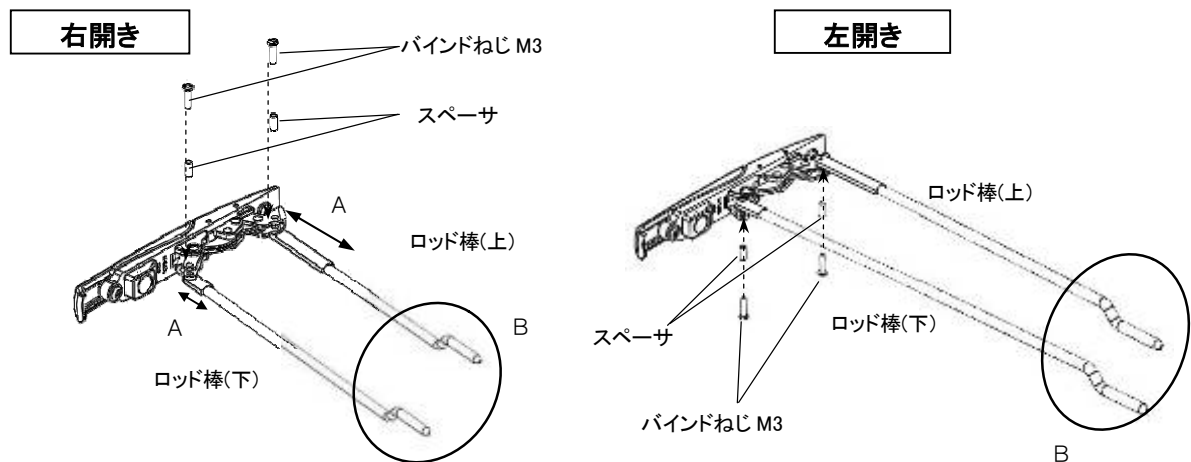
⚠ 注意



ハンドルの着脱はドアを外して作業をしてください。取付けたまま作業をしますと、部品、ねじなどが落下する恐れがあります。

(3) ハンドル組付け部品の変更

- ① ロッド棒を取付けているねじ(バインドねじM3 2個)を外し、ロッド棒及びスペーサを外します。
- ② ロッド棒の向きを変更し、スペーサを入れてハンドルに取付けます。ロッド棒には上下があり、A部が長い方が(上)、短い方が(下)になります。また、取付ける向きは、ロッド棒が下図B部の向きになるように取付けてください。



- ③ ハンドルを、取外しと逆の手順で取付けます。

(4) 変更部品の組付け

「■外装パネルの着脱方法」- (1) ドアの着脱方法」を参照しドアを組付け、完了となります。

■ マウントアングル・マウントレールの移動方法

(1) マウントアングル・マウントレールの前後移動

【対象機種: FS、FSR、FSP、FSS(奥行き 1000 mm以上)、FSK】

・マウントアングル及びマウントレールを取付けているレール取付アダプタ(上下各 4 個)のねじ(六角ボルトM6 24 個)を取外しますと、マウントアングル・マウントレールの前後移動が 20mm ピッチで可能です。

(ご注意)

- ・マウントアングル、マウントレール間のピッチを変更しますと、下記「表1」のオプションが取付けできない場合があります。
- ・FSS、FSSTはマウントアングルのみを移動することも可能です。

詳細については「(4) ケージナット用マウントアングルの前後移動」を参照ください。

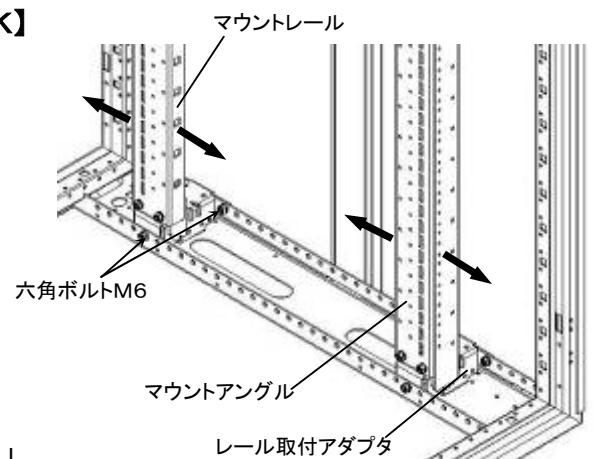


表1

スリット付台板セット(RD152-□)	重量用台板セット(RD151-□)
スリット付スライド式台板セット(RD162-□)	重量用スライド式台板セット(RD161-□)
山型レール(RD62-□)	L型レール(RD65-□)
線止めバー(RD83-D□)	ケーブルトレイ(奥行用)(RD875-D□)

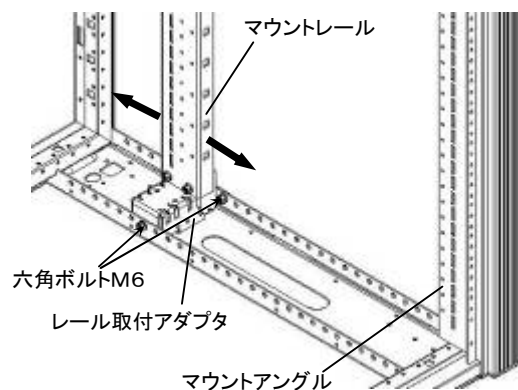
(2) マウントレールの前後移動

【対象機種:FSN】

マウントレールを取付けているレール取付アダプタ(上下各 2 個)のねじ(六角ボルトM6 12 個)を取外しますと、マウントレールの前後移動が 20mm ピッチで可能です。

(ご注意)

マウントレールの位置を変更しますと、前項「表1」のオプション実装ができない場合があります。



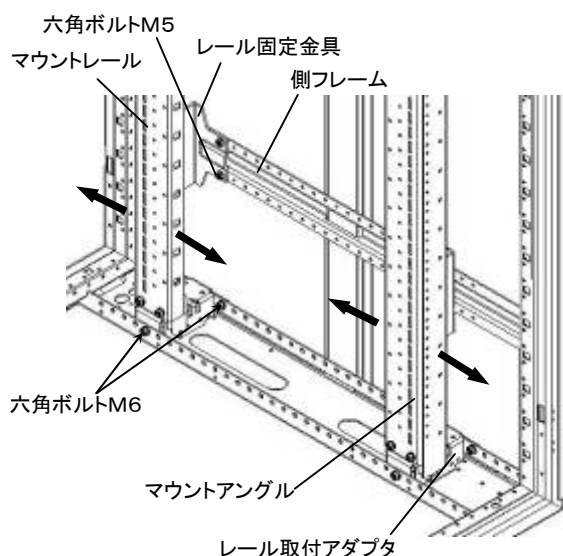
(3) マウントアングル・マウントレールの前後移動

【対象機種:FST・FSST(奥行き 1000 mm以上)】

マウントアングル・マウントレールを取付けているレール取付アダプタ(上下各 4 個)のねじ(六角ボルトM6 24 個)及びレール固定金具のねじ(六角ボルトM5 16 個)を取外しますと、マウントアングル・マウントレールの前後移動が 20mm ピッチで可能です。

(ご注意)

- ・マウントアングル・レール間ピッチを変更しますと、前項「表1」のオプション実装ができない場合があります。
- ・FSSTはマウントアングルのみを移動することも可能です。詳細については「(4) ケージナット用マウントアングルの前後移動」を参照ください。



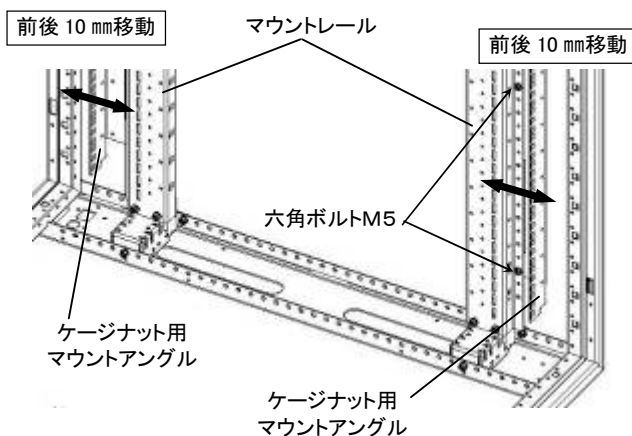
(4) ケージナット用マウントアングルの前後移動

【対象機種:FSS・FSST・組替仕様(-2ME)】

ケージナット用マウントアングルを取付けているねじ(六角ボルトM5)を取外すことで、ラック前・背面側のケージナット用マウントアングルが前後 10mm 移動可能です。

(ご注意)

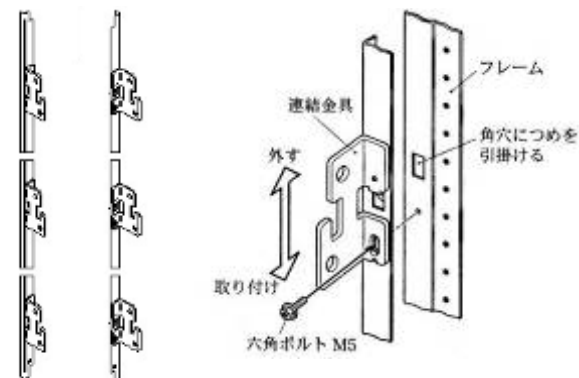
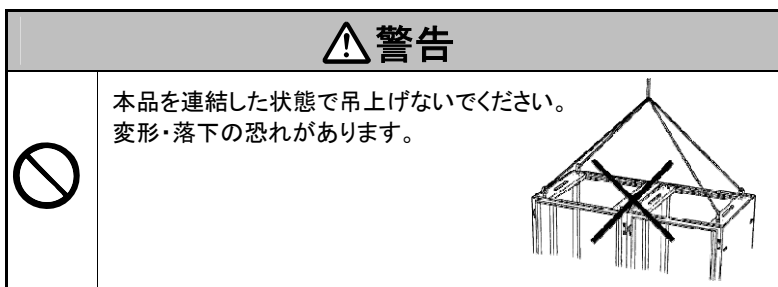
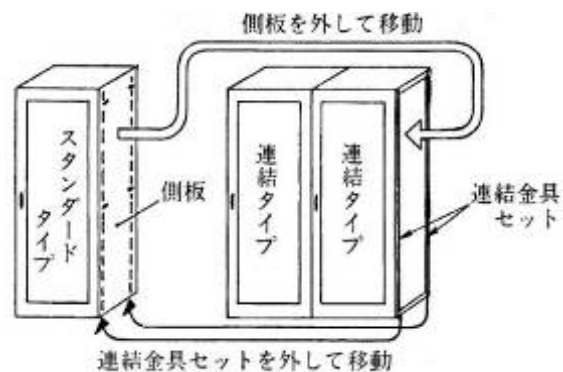
ケージナット用アングルを移動した際に、アンカー固定及び連結作業がしにくい場合があります。この時はアングルを移動する前に作業を行ってください。



■ 連結方法

(1) スタンダードタイプと連結タイプ(FSR)を連結する場合

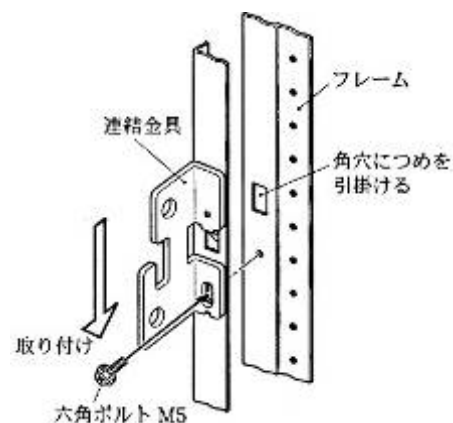
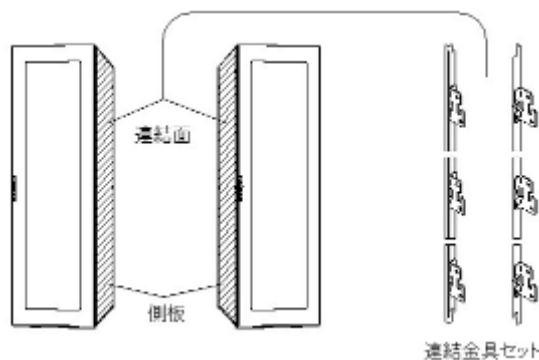
- ① 最端側となる連結タイプの連結金具(2本)を外してください。
連結金具は固定ねじ(六角ボルトM5)を外し、上部へスライドさせると、引掛け部が外れます。
- ② スタンダードタイプの連結面の側板を外し、上記連結金具(2本)を取付けてください。連結金具の取付けはフレーム角穴につめを引掛け、連結タイプから外したねじ(六角ボルトM5)にて固定してください。



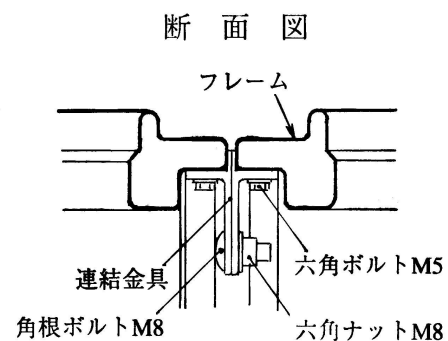
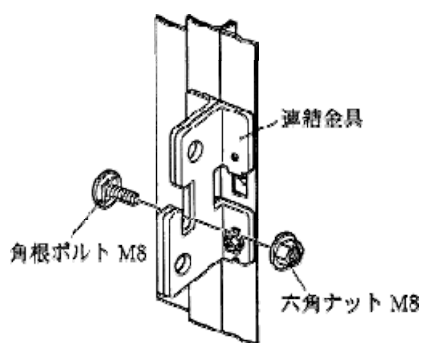
連結金具セット

(2) 連結金具セット(RD76-FS[KN])を使用する場合

- ① 連結面の側板を外し、連結金具セット(RD76-FS[KN])を取付けてください。連結金具の取付けはフレーム角穴につめを引掛け、付属ねじ(六角ボルトM5)にて固定してください。連結金具は固定ねじ(六角ボルトM5)を外し、上部へスライドさせると、引掛け部が外れます。



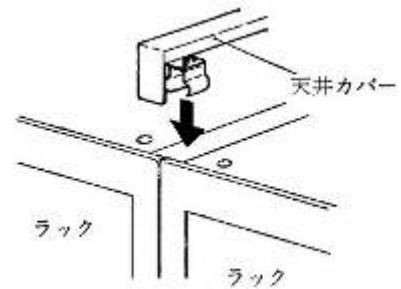
- ② 連結金具の連結面を合わせ、角根ボルトM8と六角ナットM8にて締付けてください。



③天井カバーを天井連結面に差込んでください。バネによる保持のため、取付ねじは不要です。

(ご注意)

- ・連結金具セットの取付けは、アンカー固定する前に行ってください。アンカー設置されたラックの間に連結金具セットを取付けることはできません。
- ・FSS、FSSTのケージナット用マウントアングルを移動する前に連結金具セットの取付けを行ってください。



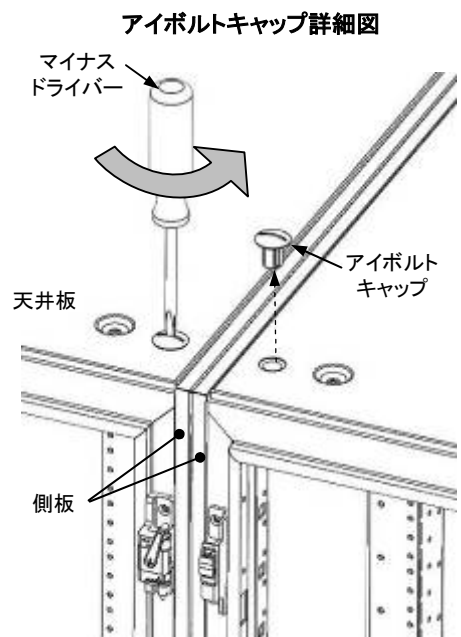
警告

本品を連結した状態で吊上げないでください。変形・落下の恐れがあります。

(3) 天井連結金具セット (RD76-1FSN) を使用する場合

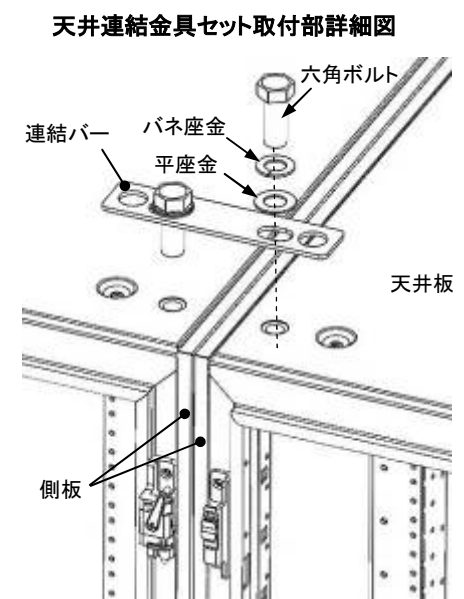
連結するには組替仕様・天井板アイボルト取付用タイプ (-TB) 及び天井連結金具セット (RD76-1FSN) が必要となります。別途ご用意ください。

- ①側板同士隙間のないように設置してください。
- ②天面のアイボルトキャップを外してください。
アイボルトキャップが硬い場合は、マイナスドライバーなどで反時計方向に回すと外すことができます。
- ③天井連結金具セットの連結バーを天井板の上にのせ、六角ボルト、パネ座金、平座金にて締付けて連結してください。



警告

本品を連結した状態で吊上げないでください。変形・落下の恐れがあります。



注意

取付けに際して、六角ボルトをしっかり締付けてください。六角ボルトの締付けが不十分ですと、落下・破損の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじタップを破損する恐れがあります。

ねじ呼び	適正締付トルク値
16	50.0~59.8N・m(510~610kgf・cm)

■各種オプションの取付方法

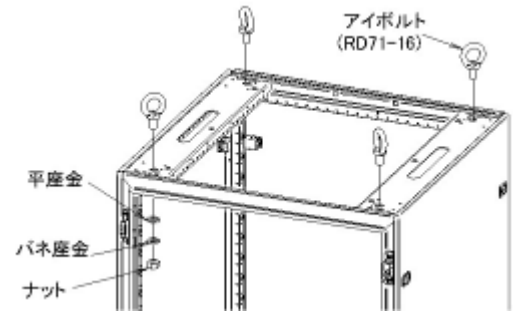
(1) アイボルト(RD71-16)

天井板を取外し、天面の長穴17×20に、アイボルト(M16)を取付けます。

(ご注意)

- ・アイボルトを付けた状態で、天井板を取付けることはできません。
- ・天井板を取付けた状態でアイボルトを取付けの際は、組替仕様・天井板アイボルト取付用タイプ(-TB)を別途ご用意ください。

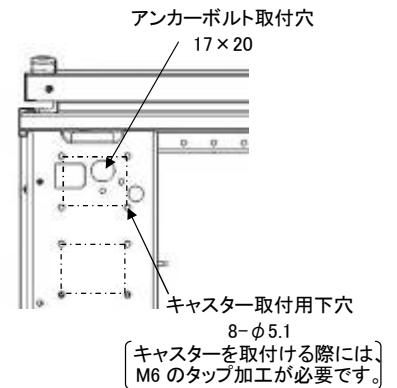
アイボルト取付部詳細図



(2) キャスター(RD72-6H, 6HS, 7, 7S)

ラック本体底面のキャスター取付用下穴32-φ5.1にM6のタップ加工を行ってから取付けてください。

キャスター取付部詳細図



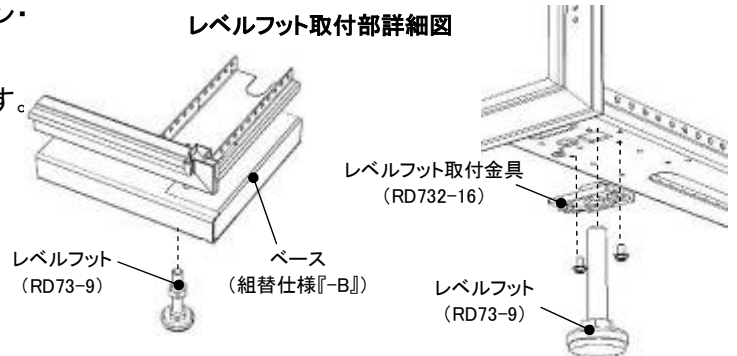
(3) レベルフット(RD73-9)

レベルフット(M16)を取付ける際は、ラックオプション・レベルフット取付金具(RD732-16)または基台組替仕様・ベース付タイプ(-B)が必要となります。別途ご用意ください。

(ご注意)

ラック本体底面にレベルフット取付金具(RD732-16)を利用してレベルフット・キャスターを同時取付する場合はレベルフット(RD73-9)、キャスター(RD72-6H, 6HS)を使用してください。

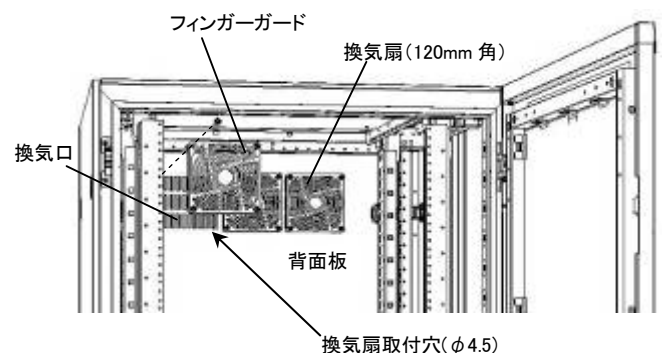
レベルフット取付部詳細図



(4) 背面板への換気扇(120 mm角)

背面板に設けられた換気口を使用し、換気扇(120 mm角)をねじ止め固定してください。背面板への換気扇取付数は3個です。

換気扇取付部詳細図



⚠ 警告



回転物注意

回転部に指や異物を入れないでください。けがの恐れがあります。

必ずフィンガーガードを取付け、外さないでください。けがの原因になります。

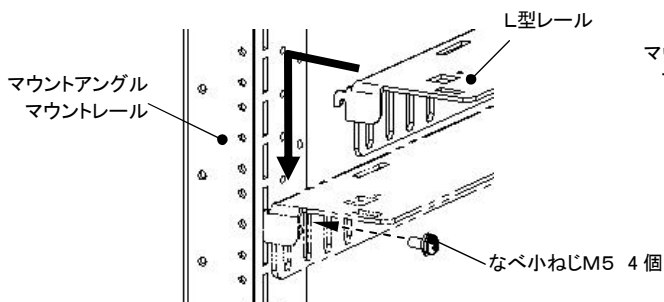


保守・点検作業は必ず電源を切り、換気扇が停止してから行ってください。けがの原因になります。

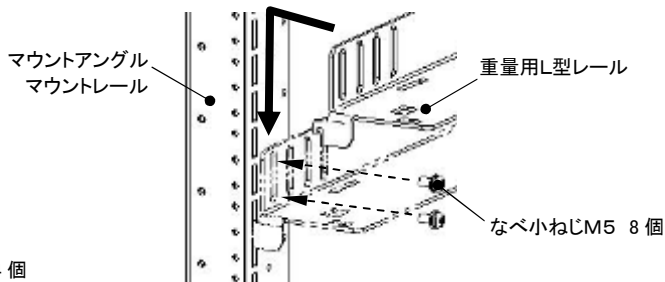
(5) スリット付台板セット (RD152-□S)・重量用台板セット (RD151-□S)

① L型レール(重量用L型レール)をマウントアングル(マウントレール)に引掛け、なべ小ねじM5にて固定してください。

スリット付台板セット (RD152-□S)



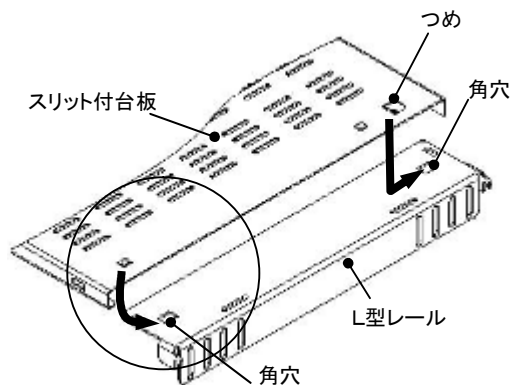
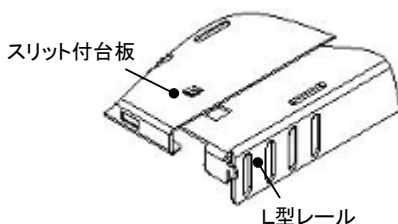
重量用スリット付台板セット (RD151-□S)



② 台板のつめをL型レールの角穴に乗せてください。

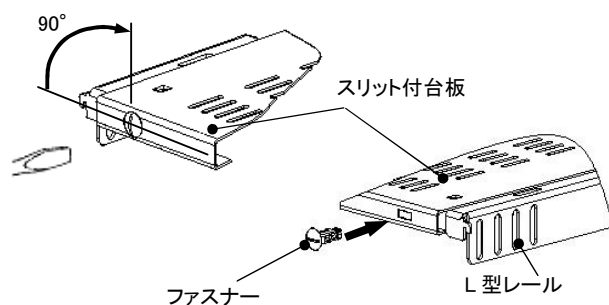
台板の前側を 20mm 持上げた状態で後部のつめが L型レールの角穴にかかるように押込み、台板の前面をL型レールにはめ込んでください。

はめこみ図



③ ファスナーを前面の穴に差込み、マイナスドライバー等で時計回りに 90° 回転させてください。

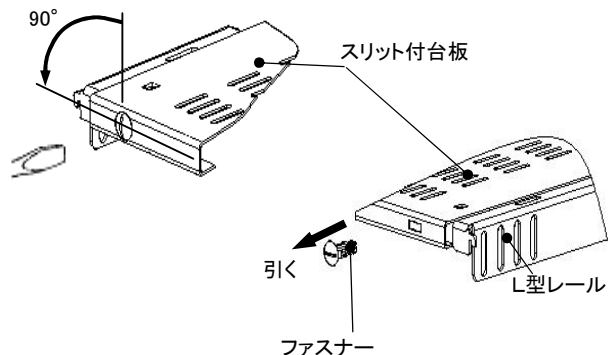
⚠ 注意	
	台板取付用ファスナーは 90° 以上回さないでください。90° 以上回すと破損の原因になります。



④ 台板を外す際は、ファスナーを反時計回りに 90° 回転させロックを解除します。ファスナーを前面に引いた状態で台板を外してください。

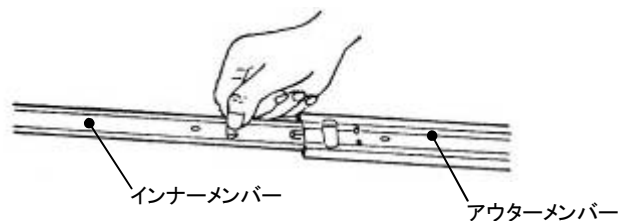
(ご注意)

台板に物を置く際は、耐震対策として固定ベルト (RD821) などで固定してください。

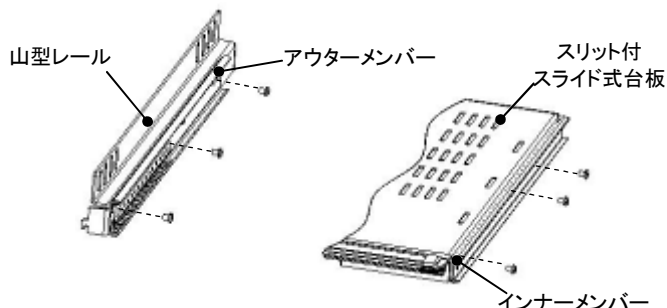


(6) スリット付スライド式台板セット(RD162-□S)

- ①スライドレールのインナーメンバーを引出します。
ロックを解除し、インナーメンバーをアウターメンバーから取外してください。



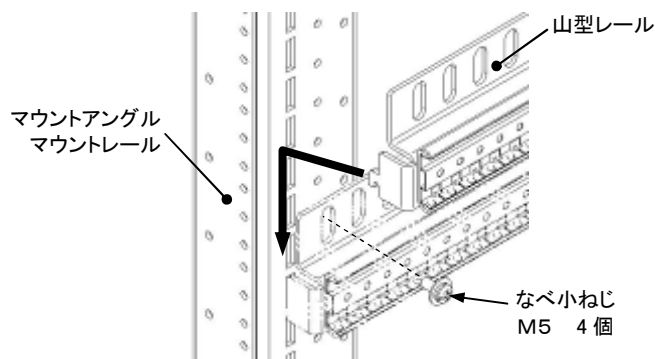
- ②山型レールにアウターメンバー、スライド式台板にインナーメンバーをねじ止めしてください。



- ③山型レールをマウントアングル(マウントレール)に引掛け、なべ小ねじM5にて固定してください。
最後にスライド式台板をはめ込んでください。

(ご注意)

- ・取付け後、2~3回スライドさせスムーズに出入れできるか確認してください。
- ・スライド式台板に物を置く際は、耐震対策として固定ベルト(RD821)などで固定してください。

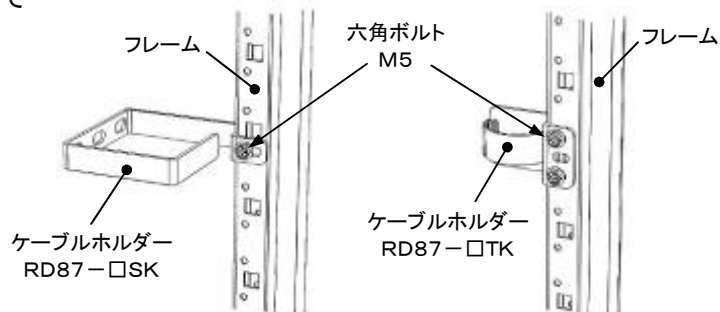


(7) ケーブルホルダー(RD87-□SK/□TK)

ケーブルホルダーをフレームの丸穴(φ4.6)にあわせて六角ボルト(Sタイト)M5にて固定してください。

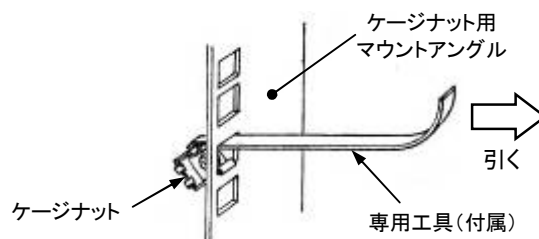
(ご注意)

ラックの機種により、取付けができないケーブルホルダーがあります。別途ご相談ください。



(8) ケージナット(RD751)

ケージナットのバネの一方をマウントアングルの角穴に引掛けます。その後、専用工具またはマイナスドライバー等でもう一方のバネを角穴に入れてください。



MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2011年8月現在のものです。

B946711951-F

NITO 日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
TEL 〈0561〉 64-0152
<http://www.nito.co.jp>